

## 「努力・スポーツ大好き」

廿日市市立佐方小学校 4年

中山 優衣



私は、2才のころ、のうしゅようと言う、大きな病気をしました。小のうにガンができて、バランスや運動するのが、むずかしいでしょう、と言われたそうです。

私は大きくなってこの話を聞いて、びっくりしました。ふつうに走れるし、体育も大好きなので、ふつう子とかわらないと思っていました。でも、たまに、つかれやすかったり、雨の日は、頭がいたくなったり、まっすぐ歩けなかったりしました。私は、負けるのが、いやだったので、みんなと同じように、一生けん命、がんばりました。私のがんばりを見て、お母さんが、

「陸上クラブに入って、体力をつけなさい。」

と言ったので入りました。クラブに入ってみると、走るのが楽しく、友達もできました。種類も多くびっくりし

ました。ももあげ、きそトレーニングは、むずかしく、つかれました。ふくぎつな足のあげ方や、のぼし方を先生が教えてくれました。だいぶ、出来るようになりました。

私がとくに、好きな種目は100mです。はかるたびタイムが速くなるのが、うれしいです。うでのふり方や走り方をよく注意されて、直そうと思ってもなかなか、うまくいかない時は、いじけたり涙がでたりします。そんな時お母さんは、

「人より努力をしないと速くならない。努力は無げんよ。」

と言います。だから私は毎日、うでふりや、ふつきん、はいきん、うでたて、なわ飛び、をがんばってやっています。これをやって、少しでも速く走り、小学生の全国大会へ行く事が今のゆめです。

今、クラブのメンバーとリレーをしています。テークオーバーゾーン内で、次の走者を信じていきをあわせてバトンを落とさないように、気をつけながら、パスし、ベストタイムをねらう。同じ目標を持っているから、速くなるような気がします。あとは予選、じゅん決勝と進めるように頑張るだけだと思います。そして、大切なのは自分が速く走りたいそのためにはどうすればいいか、負けても落ちこまない、強い心、気持ちを持つ事が、出

来ればいいと思います。

そして、私達のクラブのせんぱいで、ためすえ大選手や、しん宮みほさんみたいに、かつやくしたいです。

私は、自分が病気だからと言って、ゆめやスポーツをあきらめるんじゃないよと出来ることをして、結果を出して、前向きに努力をしたいです。強い選手も、努力しているはず。努力は全世界、きょうつうかもしれないね。

自分の力を信じ、頑張れば、かならず、結果はついてくると思う。教えてもらった事はす直に聞き、力にしたいです。スポーツはしんどい時もあるけど、笑顔にもなれ、めんえき力を高める一番の薬だと思います。